



## 埼玉親善大使レポート

留学先：フィリピン バギオ  
森田将彰



### 埼玉県を PR した事柄

日本の古い街並みに憧れを持つ人がフィリピンには多かったことから、蔵造りで知られている川越をまず紹介した。電線がない景観に皆驚いており、鬼滅の刃のような街だと興奮気味に反応をいただいた。

埼玉県とフィリピンは自然が豊かであるという共通点があり、話が弾みやすかった。特に、桜への関心が高かったため、日本さくら名所に選出された大宮公園の桜を紹介した。フィリピンには日本を模したリトル京都なる観光地や鳥居を山で見ることができる。

フィリピンでもインスタグラムは大人気であり、皆インスタ映えに日本ブランドを活用していた。また、アニメの影響で「サイタマ」の名はかなり知られているようだった。



### 現地での生活、風土、文化、歴史、国民性

彼らは概してフレンドリーであり、外国人を歓迎する雰囲気です。街も賑わっている。街の至るところにジプニーという乗合バスのような乗り物が走っていて初乗りは20円くらいから乗ることができる。一方で、留学生や少しお金に余裕のある人はタクシーを利用する。タクシーは300円弱で3-4キロ乗ることができるので、非常に便利だった。街に出てみると、韓国語で挨拶されることがしばしばあった。周りを見渡してみるとサムギョプサルなど、韓国料理屋が日本料理屋より充実していた。バギオは元々韓国人の留学先として開拓された歴史があり、日本人だとわかると珍しがられることが多かった。



また、フィリピンでは残業の文化があまりないように感じられ、家族や自分の時間を大事にしている印象を受けた。そして、仕事終わりに一杯お酒を飲む人が多く、街はお洒落なカフェやミュージックバーが人気だった。お酒を片手に陽気に歌い踊るフィリピン人を見て心も踊り、良い国に留学できたと改めて実感した。ちなみに、彼らはお酒がなくとも食堂で洋楽を熱唱しながらご飯を作ったり、チケット売り場ではダンスをして身体を捻りながら渡してくれたりという人々が多かった。

### 自身の活動について

私は語学学校でインターンシップ生として学校運営のサポートに携わった後、生徒として英語学習に励んだ。インターンシップでは生徒に向けた学校案内作成や新入生管理、オリエンテーション、書類の翻訳等に取り組んだ。

勉強面では、スピーキングと英文法を中心に勉強した。特に、英文法を英語で教わった経験が英語力向上に効果的で、今の学習にも活かしている。

この経験を胸に、これからも国際交流イベントや英語で開講される授業に積極的に参加していきたい。